

当協会は1956年3月23日に創立し、来年は65周年を迎えます。「日中文化交流」誌では、これまで原稿の再録や「あの時あの頃」欄などを通し、創立当初からの歩みを回顧し、創立60周年の際には記念特集号で2015年までの交流を紹介しました。そして本号から、順次、2016年以降の交流を振り返ります。

◎2月 「馬街書会」鑑賞訪中団(大谷たつ团长、磯田ひさ子、金田一秀穂、



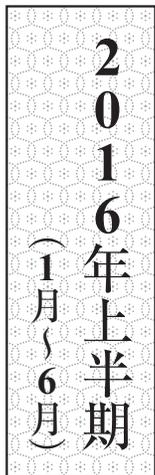
「鑑真和上像東渡」記念行事での一枚。京都・壬生寺と姉妹寺院である揚州・文峰寺は、二体の和上像を制作。中央の和上像は、揚州から海路などを経て、壬生寺に安置された。文峰寺で開眼法要を行なった松浦俊海壬生寺貫主(左手前、当協会顧問)、松浦康昭副住職(右手前)、大西晶允清水寺執事補(後方左)、能度文峰寺方丈(和上像右ら) — 五月十二日 揚州

安田登、いとうせいこう、玉川奈々福、金田一央紀の諸氏、山本英二秘書 訪中。王秀雲中日友好協会副会長ら当協会を訪問。

◎3月 上海市文学芸術界連合会代表団(張沢綱团长、張文軍、趙雲、劉巽達、劉長虎の諸氏) 来日。

◎4月 中国作家代表団(李敬沢团长、李錦琦、董立勃、金仁順、竹雄偉、徐萍の諸氏) 来日。天津市職業教育代表団(陳衛明团长) 一行七名来日。袁敏道中日友好協会秘書長ら当協会を訪問。当協会創立六十周年記念「感謝と祝賀の会」開催。中国国家博物館が「日本泉屋博古館巻」(呂章申主編、安徽美術出版社) 刊行、当協会が協力。

◎5月 日中文化交流協会代表団(栗原小巻团长、尾崎蒼石、大野宜白、加藤千洋、中野暁の諸氏) 訪中、揚州で「鑑真和上像東渡」記念行事に出席。京都・壬生寺(松浦俊海貫主)と揚州・文峰寺(能度方丈) が二体の新たな鑑真和上像を制作、「鑑真和上像東渡」記念行事参加訪中団(松浦俊海团长、石田智圓顧問、中野暁副团长、松浦康昭



氏。

◎6月 「日中文化人の書」展(当協会、日本詩文書作家協会、中国文学芸術界連合会主催) 東京で開催、開幕式出席のため、中国文学芸術界連合会代表団(李維康团长、呉涛毅、尹燕琦、陳鏡如の諸氏) 来日。日中文化交流協会大学生訪中団(入江観团长、横山勝樹副团长、中野暁副团长、竹本りさ秘書長) 一行九十六名訪中、中日友好協会の招き、「古代日中文化交流のルーツを辿る旅」訪中団(茂木雅博团长、磯田ひさ子、大谷たつ、田部隆幸、田部裕子、日弁貞夫、前村大成、前村淳子の諸氏ら) 一行十四名訪中。

团长秘書、守田文子、大間知雄三、原田知成、陳寛、茂木雅博、名古屋隆隆、井上美和子、佐久間百合、三宅信彌、三宅照代、毛利陽子、淵田雄、大西晶允の諸氏ら、池田尚広秘書長、倉本理査子秘書) 一行二十四名訪中、開眼法要、出航式、遣唐使船(KADOKAWA提供)、乗船式、安置式などに出席、揚州市人民対外友好協会の受け入れ。和上像の東渡にあわせ、江蘇省・揚州市仏教界代表団(心澄团长、揚州市文化交流代表団(廖勇团长) 来日。「東山魁夷石版画展」「日中書道展—仏教交流—「仏教写真展」揚州八怪記念館で開催、一連の行事をTBSテレビが取材し、ドキュメンタリー番組を制作、TBS系列で放映。駐中国大使に横井裕氏。



約七百年続く語り物の祭典「馬街書会」鑑賞のため訪中。評彈師の盛小雲中国曲芸家協会副主席(左三)らと交流した(盛副主席から右へ大谷たつ团长、磯田ひさ子、いとうせいこう(磯田氏後方)、(盛副主席から左へ)金田一秀穂、金田一央紀(右から)安田登、玉川奈々福の諸氏 — 一月二十日 蘇州



「漢字三千年—漢字の歴史と美」のテーブルカットに臨む(左から)黒井千次会長、武田芳明毎日新聞社専務取締役東京本社代表、原田稔東京富士美術館名誉館長、程永華中国大使、戸思社中国人民対外友好協会副会長、王軍中国文化交流中心主任。同展は、東京を皮切りに、京都、新潟、宮城、群馬で巡回展示し、好評を博した

—10月18日 東京富士美術館

好協会の受け入れ。文化講演会(日本詩文書作家協会主催)で叶松谷氏が「京焼から—観・感・創」と題し講演。田坂安希子、阪口珠未両氏が中医学視察のため訪中、倉本理査子事務局員が同行。
◎8月 松尾敏男副会長が逝去。日本「中国文化遗产」鑑賞訪中団(池田弘一、田中直毅、新井淳一、高田暁子の諸氏ら、池田尚広秘書)一行七名訪中。
◎9月 日本経済界訪中団(平田保雄団長・日本経済新聞社顧問、岩田一政子元外務大臣、北修爾阪和興業会長、北河原公敬東大寺長老、高木茂三菱地所相談役、中井加明三野村不動産ホールディングス会長、蛭田史郎旭化成相談役、松元崇第一生命経済研究所特別顧問、森清一当協会員顧問・エムシー社長、後藤卓彦日経グローバル事業担当補佐、中野暁秘書長、山本英二秘書長)訪中。四川省人民対外友好協会の趙平会長、向瓊花秘書長らが当協会を訪問。第二回「日中韓アマチュア囲碁大会」参加のため、南八郎氏、中野暁専務理事が訪中。唐家璇中日友好協会会長来日、当協会など日中友好七団体が歓迎会開催。

◎10月 黒井千次会長一行(長部千鶴会長夫人、長部玲子氏、中野暁専務理事、倉本理査子事務局員)訪中、中国人民対外友好協会の招き。栗原小巻副会長による一人芝居「松井須磨子」(加来英治構成・演出)を北京・菊隠劇場で公演、ピアニスト・城所潔氏、大山慎一舞台監督ら一行十一名訪中、中国文学芸術界連合会の招き、中国戲劇家協会、北京人民藝術劇院が協力。特別展「漢字三千年—漢字の歴史と美」(当協会、毎日新聞社、中国人民対外友好協会、中国文化交流中心など主催、黄山美術社企画)東京富士美術館で開催、開幕式出席のため中国人民対外友好協会代表団(戸思社団長、王合善秘書長)、中国文化交流中心代表団(王軍団長)来日。中国演劇家代表団(顧立群団長、侯軍、朱玉玉、李華藝、王軍勛の諸氏)来日。
◎11月 「友好の美展」(女子美術大学附属高等学校・中学校、中央美術学院附属中等美術学校主催)北京・中央美術学院附中燕郊校区美術館で開催、開幕式出席のため女子美術附属の小川正明校長、遠山香苗氏(教員)ら訪中、岡村一輝氏(教員)が附中で研修、当協会が協力。寧波仏教書画代表団(許道雲団長)一行六名来日。中国文化界代表団(張劍鋒団長、程海波秘書長、劉新華、鮑国増、張振興、董丹丹の諸氏)来日。「日中友好書法交流展—書法の楽しみ」(当協会、日本書道院など主催)日中友好会館美術館で開催。

◎12月 中国文学芸術界連合会代表団(李前光団長、暴淑艶、王建、朱宝祺、曹宇光の諸氏)来日。北京電影学院の李進国際交流学院副院長、陳滄表演芸術研究所所長ら来日、当協会が協力。

2016年下半期 (7月~12月)

附属中等美術学校主催)北京・中央美術学院附中燕郊校区美術館で開催、開幕式出席のため女子美術附属の小川正明校長、遠山香苗氏(教員)ら訪中、岡村一輝氏(教員)が附中で研修、当協会が協力。寧波仏教書画代表団(許道雲団長)一行六名来日。中国文化界代表団(張劍鋒団長、程海波秘書長、劉新華、鮑国増、張振興、董丹丹の諸氏)来日。「日中友好書法交流展—書法の楽しみ」(当協会、日本書道院など主催)日中友好会館美術館で開催。

一人芝居「松井須磨子」終演後、公演成功の祝意を受けた栗原小巻副会長(左四)。(栗原副会長から右)孫家正中国文学芸術界連合会主席、同公演鑑賞のため訪中していた黒井千次会長、北京人民藝術劇院の俳優・馮遠征、王斑両氏(栗原副会長から左)董偉中国文化部副部長、中国戲劇家協会の顧立群秘書長、李華藝対外連絡部主任と



—十月十二日 北京・菊隠劇場